

会派代表質問と2019年度予算

鎌倉市議会2、3月定例会は、毎年会派代表質問と、翌年度の鎌倉市予算の検討が行われます。

私が所属する会派「鎌倉みらい」では、鎌倉市の現在の課題をどう解決するか、未来のために、子ども達のために、市民の安全のために何をするべきかをテーマに、12項目69件の質問をしました。

主な質問は

- ◎子育てを支援し、すこやかな成長のための質問
- ◎ご高齢者の安心と健康な暮らしのための質問
- ◎安全で元気な日々の市民生活のための質問
- ◎鎌倉市の産業振興のために漁港建設の質問

などですが、左ページから順次ご紹介します。

来年度の鎌倉市の予算は、行政運営の基礎となる一般会計は、前年度の2.6%増となる約612億円。国民健康保険事業などの特別会計は7.6%増となる約514億円。総予算では4.8%増となる約1,126億円となりました。

新規事業には、前年度に引き続き子育て、教育支援事業が多く盛り込まれ、市立中学校の普通教室全てに冷房を設置、2020年度末までに小学校5校と中学校4校のトイレを全面改修します。

待機児童対策として浄明寺県営住宅跡地や鎌倉駅東口など5つの保育施設の新設、建て替えを進める予定です。

この他、ロボットによる業務自動化やテレワーク導入による行財政改革を推進し、鎌倉駅西口、東口の整備を盛り込みました。なお特別会計の増は、会計方式の変更によるものです。

ブログ「いやさか通信」から

二中へ同窓会から記念品



グラウンドの玉縄桜は早くも8分咲き。昨年創立70周年を迎えた学校に同窓会から移動式のTVを贈呈。全校生徒が参加するなか贈呈式が行われました(2/28)。

母と子のトスペース鎌倉



42回目を迎えた「母と子どものふれあいトスペースボール鎌倉大会」。寒い中でしたが、子ども達の元気な声が多目的のスポーツ広場に響きました(2/16)。

フレイル予防活動の視察



健康と要介護の間にある時期を指すフレイル。高齢者がお互いの健康を継続的にチェックする取り組み。返子市、茅ヶ崎の様子を視察しました(2/16)。

天皇陛下御即位三十年奉祝



横浜開港記念会館で開催。第1部の奉祝式典に続き、第2部では華やかな演技・演奏が繰り広げられ、第3部の新保祐司氏の記念講演へと続きました(2/11)。

暖かく穏やかな節分祭



鶴岡八幡宮と鎌倉宮で豆撒きの役をさせていただきました。ひたすら「福は内！」だけを唱えて豆を撒き、皆さんと一緒に福が来ることを祈りました(2/3)。

平成31年鎌倉市消防出初式



災害の時代という代名詞がつく平成最後の出初式。水没した車からの救助や放水訓練と共に、可愛い消防服を着た小さな子ども達が放水を初披露(1/6)。

前川あやこのホームページからブログ「いやさか通信」をご覧ください。
<http://www.maekawa-ayako.net>

共育のまち、鎌倉をつくろう



昭和24年1月26日は法隆寺金堂が焼失した日。この日を「文化財防火デー」と定めて、各地で文化財防火訓練が実施されます。市内では対象となる施設は76軒。私の住む浄明寺地区では、浄妙寺で、鎌倉市消防本部、鎌倉消防署浄明寺出張所と第一消防分団によって消火訓練が行われた。子どもの頃、瑞泉寺の裏山での火災を経験したこともあり、緊張して見守りました(2019,1,23)。



前川あやこ

無所属 鎌倉市議会議員

2005年初当選 4期目 鎌倉みらい

議会運営委員会委員長

教育・子どもみらい常任委員

政策法務研究会メンバー

レポート

No.60

2019,04発行

2019年2・3月議会からのご報告

- 1 会派代表質問と2019年度予算
- 2 子育て支援と子ども達の安全
- 3 世代交流とご高齢者の健康と安心
- 4 安全、安心、健康な市民生活
- 5 60年の悲願、鎌倉漁港建設

討議資料

子育て支援と子ども達の安全

◆鎌倉市における産後ケアの現状

仕事がある、頼れる人が近くに居ないなど、妊産婦に対する相談体制と産後ケアの重要性が増している。市内の産科診療所に委託して実施しているが、H30年度は宿泊型16人、訪問型32人の利用があった。

◆保護者への支援で児童虐待の未然防止へ

子育てや養育面で不安を抱える家庭に対して、子育て講座や養育支援訪問を行うなど、不安を取り除くことで児童虐待の防止につなげていく。

◆児童虐待が疑われる場合の対応について

学校では児童生徒の生活状況や会話の中から変化を見取り、校内で情報を共有し、教育委員会、児童相談所、警察へも通告を行い、連携することで安全な生活の確保に取り組んでいる。

◆学校の避難訓練は頻繁な実施を

火災、地震、津波など、様々な状況を想定して、時間帯を変える、予告をしないなどの方法で学期ごとに1、2回実施している。海に近い学校ではライフジャケットを着用しての避難訓練も行っている。

◆小中学校の施設整備計画の進捗状況

H30年度に実施した学校施設老朽化状況調査結果などを基に、公共施設再編計画を踏まえ、来年度に学校施設整備計画を策定して教育環境の整備に取り組む。

鎌倉市中学校給食、利用8割超



2017年11月に始まった給食。「おいしい」「楽しみ」など好評で利用率は8割を超えた。食物アレルギーに完全対応できないために家庭弁当との併用制だが、想定の6割を大きく上回っている。

世代交流とご高齢者の健康と安心

◆多世代が交流する場のさらなる充実を

みらいふる鎌倉による坂の下海岸での三世代交流事業など、多世代交流の取り組みを広げて行く。また、各老人福祉センターで行われている世代間交流事業も場の提供など、さらなる充実を図っていく。

◆加齢に伴う衰え予防と改善、フレイルチェック

フレイルとは健康と要介護の間にある時期を指し、その時期に自分の体を確認し要介護に進まないようにする事業だが、2019年度には簡易的なチェックを実施できる人をみらいふる鎌倉の会員の中に養成し、フレイルチェックを広めていく予定である。

◆エンディングプランサポートと終活情報

一人暮らしで近親者がいない方がいざとなった時、速やかな対応ができるよう市と契約するもの。また終活情報登録は、2019年度から実施予定で、広報やホームページへの掲載、地域での説明会を予定。

観光地のマナー向上を求めて条例

2、3月議会で鎌倉市はハイキングコースや観光地でのマナー向上を求める条例を制定。山路でのトレイルラン、線路近くの路上での撮影、観光エリアでの混雑時の食べ歩きなど、これまでも市民から苦情が寄せられているが、禁止や規制をしても実効性が担保できないため、マナー向上を呼びかける条例とした。

資源回収をしながら防犯にも取り組む

鎌倉市の紙布、ミックスペーパー、容器包装プラスチックを回収する鎌倉市資源回収協同組合は、市と鎌倉・大船警察署と防犯に関する協定を結んだ。収集車は週日60～80台が出勤し、市内4,500カ所から収集する。同組合はすでに収集車に「防犯パトロール」のステッカーを貼り市内の防犯に協力しているが、この度、各収集車に「ドライブレコーダー」を搭載して、市民の安心・安全に必要な時はその映像を提供することもできることにした。

安全・安心・健康的な市民生活

◆スポーツ実施率向上とウェルネスのまち

市民のスポーツ実施率は平均で約46%。60歳以上で高く、18～40歳で低い。地域のスポーツ行事などで、この低い層の実施率を上げて行く。深沢地域のまちづくりは、健康的な日々の暮らし『ウェルネス』がテーマだが、健康の維持増進、スポーツの推進等をコンセプトとして計画されている。事業の進捗に合わせて体制強化に努めたい。

◆ゴミ焼却施設建設せず、減容化施設を整備

3月26日の市議会全員協議会で、市は新たなゴミ焼却施設を建設せず、鎌倉・逗子・葉山で作る「ゴミ処理広域化検討協議会」の枠組みを活用して、自区外での処理を表明した。また生ゴミを減らすには資源化が欠かせないが、現在「今泉クリーンセンター」が計画されており、周辺住民への説明を進める。

◆安全のための防犯カメラと危険斜面・樹木

通学路の安全・防犯のための見守り体制再点検と共に、死角となる危険箇所への防犯カメラ設置を、警察他関係機関と協議し検討していく。また危険斜面や危険樹木については、庁内横断的な調整会議を開催・協議し、対策を実施しているが、一層の情報共有に努めて被害の減少を目指したい。市が管理する緑地についても、危険樹木の伐採や、剪定を行っていく。

60年の悲願、鎌倉漁港建設

◆産業振興、防災に関わる重要インフラ

鎌倉地域は漁港を持たないにも関わらず、若手に恵まれ、市民に新鮮な魚介類を届けている。漁業活動支援施設は地域振興、防災にも効果が高い。水産庁との協議を継続して、施設整備に取り組む。